

社会科(歴史的分野)学習構想案

期 日 令和6年11月12日(火)第5校時

場 所 人吉市立第一中学校 体育館

学 級 2年4組 33名

指導者 人吉市立第一中学校 教諭 池田さやか

1 単元構想

単元名	第5章 3節「明治維新」(東京書籍 P.168～185)		
単元の目標	<p>○明治維新によって近代国家の基礎が整えられるとともに、人々の生活が大きく変化したことを理解することができる。</p> <p>○明治維新が急速に進められた背景とその影響を、政府からの視点や民衆からの視点等から分析し、多面的・多角的に考察、表現することができる。</p> <p>○明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、主体的に追究、解決しようとしている。</p>		
単元終了時に期待する生徒の姿			
<p>明治政府が、近代国家を形成していく中で独立を保ちながら国際社会と関わり、その過程の中で人々が政府への批判を武力から言論へ変えていったことを、郷土の歴史と重ね合わせながら調べて理解するとともに、郷土に誇りをもち、自ら考え行動しようとする生徒。</p>			
指導計画と評価計画(10時間取扱い 本時8/10)			
過程	時間	主発問及び 主に働かせたい見方・考え方	身につけさせたい力 (知・技 / 思・判・表 / 態)
課題把握	1	<p>【推移】</p> <p>○明治維新によって、政治や社会はどう変化したか。</p>	<p>・新政府が樹立し、版籍奉還や廃藩置県等で政治や社会がどう変化したのかを理解することができる。(知・技)</p>
	<p>単元を貫く課題：明治政府は、どのような国を目指し、人々はどう反応したのだろうか。</p>		
課題追究	1	<p>【推移・比較】</p> <p>○明治維新の三大改革は、どのような内容だったか。</p>	<p>・明治維新の三大改革【学制・兵制・税制】について、その目的と内容を理解することができる。(知・技)</p>
	1	<p>○明治維新の三大改革について、人々はどう思っていたか。</p>	<p>・明治維新の三大改革の影響を考察し、表現することができる。(思・判・表)</p>
	1	<p>【推移・比較】</p> <p>○富国強兵と文明開化は、人々の生活にどのような変化をもたらしたのか。</p>	<p>・文明開化について、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを理解することができる。(知・技)</p>
	1	<p>【相互の関連】</p> <p>○明治政府は、欧米諸国や清、朝鮮と、どのように外交関係を結ぼうとしたのか。</p>	<p>・新政府が行った外交政策について、欧米諸国やアジア諸国との関係から考察し、表現することができる。(思・判・表)</p>
	1	<p>【相互の関連】</p> <p>○国境と領土の確定は、どう行われたか。</p>	<p>・国境や領土の確定について、新政府が行った政策を理解することができる。(知・技)</p>
	1	<p>【推移・比較・相互の関係】</p> <p>○明治維新に対して士族は、どう反応したか。</p>	<p>・明治維新に対して士族は、武力による反乱を選択したことを理解することができる。(知・技)</p>
	1 本時	<p>○人吉士族は、西南戦争にどのように関わったのだろうか。</p>	<p>・人吉士族が西南戦争に関わっていたことを踏まえ、その後の政府への反応がどう変化していくのか説明することができる。(思・判・表)</p>
1	<p>【比較・相互の関係】</p> <p>○憲法制定や国会開設に向けて、どのような動きがあったのか。</p>	<p>・国会開設や大日本帝国憲法の制定までの過程を、明治政府と自由民権運動との関係から理解することができる。(知・技)</p>	
課題解決	1	<p>【現在とのつながり】</p> <p>○明治政府は、どんな国を目指し、人々はどう反応したのだろうか。</p>	<p>・明治維新で明治政府が目指した国は、どのような国で、人々がどう反応したのかについて追究し、本単元の課題を解決しようとしている。(態)</p>

2 本実践のねらいと生徒の実態

本実践(単元)のねらい																								
<p>本単元は、中学校学習指導要領〔歴史的分野〕の内容「C 近現代の日本と世界」の「(1)近代国家の日本と世界」を受けて設定されており、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解することを、ねらいとしている。</p> <p>本単元で学習する19世紀後半は、欧米列強によるアジア・アフリカ諸国への植民地支配の拡大・強化がなされた、いわゆる帝国主義の時代である。日本は、欧米からの圧力を撥ね除けて独立を維持するために、富国強兵をスローガンに明治維新を推進した。これに伴い、文明開化の名の下に人々の生活も大きく変化していった。しかし、改革が急速に進められた分、人々の戸惑いや反発も大きかった。その最たる動きが、西南戦争と自由民権運動である。明治政府がこれらを克服した後に、内閣制度や大日本国憲法及び帝国議会開設に象徴される近代国家が立ち現れるのである。</p> <p>本単元の学習では、明治維新によって社会と人々の生活が大きく変化したことを理解するとともに、明治政府の立場、明治政府の政策を受け入れた人々や反抗した人々の立場など、さまざまな立場から考えを深める過程で郷土の歴史にも触れる。当時の人々の思いに迫ることで、日本の歴史がより身近に感じられることで理解を深めることができると考える。そして、生徒一人一人が歴史に対する関心を高め、現在の政治の在り方にも多面的・多角的に考え、自ら行動しようとする公民的資質を育てることが期待できる。</p>																								
本単元における系統																								
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>中2「欧米の進出と日本の開国」 近代化した欧米諸国とアジアとの関係が変化中、その波が日本にも押し寄せる課程を理解する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>小6「明治の国づくりを進めた人々」 外国船の来港から幕末の流れ、明治維新以降の日本の仕組みを理解する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>中2「明治維新」 明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>中2「日清・日露戦争と近代国家」 近代化を推し進める中で起こった中国やロシアとの戦争が、人々の生活をどのように変化をもたらしたかを理解する。</p> </div> </div>																								
生徒の実態(単元の目標につながる学びの実態)																								
<p>■本単元を学習する以前の内容理解 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">調査内容</th> <th style="width: 10%;">よく</th> <th style="width: 10%;">まあまあ</th> <th style="width: 10%;">あまり</th> <th style="width: 10%;">ない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>これまで(江戸時代まで)の学習を理解することができました。</td> <td>12.7</td> <td>50.3</td> <td>21.4</td> <td>15.6</td> </tr> <tr> <td>明治時代に、日本で「西南戦争」という戦いがあったことを知っていますか。</td> <td>81.4</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>18.6</td> </tr> </tbody> </table>					調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない	これまで(江戸時代まで)の学習を理解することができました。	12.7	50.3	21.4	15.6	明治時代に、日本で「西南戦争」という戦いがあったことを知っていますか。	81.4	—	—	18.6					
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない																				
これまで(江戸時代まで)の学習を理解することができました。	12.7	50.3	21.4	15.6																				
明治時代に、日本で「西南戦争」という戦いがあったことを知っていますか。	81.4	—	—	18.6																				
<p>■本単元の学習に関する意識の状況 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">調査内容</th> <th style="width: 10%;">よく</th> <th style="width: 10%;">まあまあ</th> <th style="width: 10%;">あまり</th> <th style="width: 10%;">ない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史の学習について、意欲的に取り組んでいますか。</td> <td>40.2</td> <td>48.6</td> <td>10.3</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>「明治維新」で行われたことは何ですか。(自由記述)</td> <td colspan="4"> 廃藩置県 地租改正 徴兵令 学制(教育の改革) 西洋化・近代化 富国強兵 中央集権国家・天皇中心の新体制など 大日本帝国憲法 身分制の廃止 版籍奉還 岩倉使節団・留学 領事裁判権の撤廃 五箇条の御誓文 国会設立・選挙 分からない </td> </tr> <tr> <td>「西南戦争」について知っていることは何ですか。(自由記述)</td> <td colspan="4"> 西郷隆盛の活躍 日本最後の内戦 西郷軍 VS 新政府軍の戦い 熊本城でもあった 人吉でもあった 分からない </td> </tr> </tbody> </table>					調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない	歴史の学習について、意欲的に取り組んでいますか。	40.2	48.6	10.3	0.9	「明治維新」で行われたことは何ですか。(自由記述)	廃藩置県 地租改正 徴兵令 学制(教育の改革) 西洋化・近代化 富国強兵 中央集権国家・天皇中心の新体制など 大日本帝国憲法 身分制の廃止 版籍奉還 岩倉使節団・留学 領事裁判権の撤廃 五箇条の御誓文 国会設立・選挙 分からない				「西南戦争」について知っていることは何ですか。(自由記述)	西郷隆盛の活躍 日本最後の内戦 西郷軍 VS 新政府軍の戦い 熊本城でもあった 人吉でもあった 分からない			
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない																				
歴史の学習について、意欲的に取り組んでいますか。	40.2	48.6	10.3	0.9																				
「明治維新」で行われたことは何ですか。(自由記述)	廃藩置県 地租改正 徴兵令 学制(教育の改革) 西洋化・近代化 富国強兵 中央集権国家・天皇中心の新体制など 大日本帝国憲法 身分制の廃止 版籍奉還 岩倉使節団・留学 領事裁判権の撤廃 五箇条の御誓文 国会設立・選挙 分からない																							
「西南戦争」について知っていることは何ですか。(自由記述)	西郷隆盛の活躍 日本最後の内戦 西郷軍 VS 新政府軍の戦い 熊本城でもあった 人吉でもあった 分からない																							
<p>■考察</p> <p>○本学級は、歴史の学習について意欲的な生徒が多い。また、人吉の歴史に関連が深い西南戦争について、西南戦争があった事実を覚えている生徒は多いが、郷土との関連については知らない生徒が多い。</p> <p>○明治維新で行われたことについて知っている生徒とそうでない生徒との個人差が大きい。グループ学習や話し合い活動で学習することに対し意欲的な生徒も多いため、本単元では、自分と他者との考えを比較し考察したり、関連付けたりする等の学び合いを通して、理解を深めていくようにしていきたい。</p>																								

3 指導に当たっての留意点

- 本時の学習では、資料の読み取りから社会的事象の特色を読み取ることを目的としている。資料活用をしやすくするために、原文史料を現代文に訳して提示する等の工夫していきたい。
- 本校の共通実践事項に、「学び方の『自己選択・自己決定』」がある。授業の中で、生徒自身なら参加するか、しないか等を書き込めるように、ワークシートの構成を工夫していきたい。
- 電子黒板やタブレットで思考をまとめるために、授業支援アプリ(ロイロノート)を活用したり、関心を高めるためにプレゼンソフトを活用したりするなどの工夫をしていきたい。

4 本時の学習

(1) 目標 西南戦争に対する人吉士族の関わりを考える活動を通して、政府への批判が武力から言論へ変わっていったことを、説明することができる。(思・判・表)

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (〈予想される生徒の発言 ※生み出したい問い)	指導上の留意事項
導入	10分	<p>1 前時の内容を振り返り、西南戦争に人吉が関わっていた事実を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○士族の反乱について振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ◇1876年に一番多く起こっていた。 ◇西南戦争が最後で最大の反乱だった。 ○西南戦争と人吉士族との関わりを確認し、学習課題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ◇西南戦争は、人吉でも起こっている。 <p>※人吉士族は、西南戦争にどのように関わったのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○西郷隆盛らの下野に関する資料(資料①)、士族の反乱の発生場所を示す地図(資料②)、西南戦争までの明治政府の動きをまとめた年表(資料③)を提示して、簡潔に振り返る。 ○西南戦争の経路地図(資料④)を提示して、人吉が西南戦争に深く関連していることに気付かせる。
		<p>【学習課題】 人吉士族は、西南戦争にどのように関わったのだろうか。</p>	
展開	35分	<p>2 学習課題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人で予想する。 <ul style="list-style-type: none"> ◇寅助火事でお世話になったから、西郷軍に味方した。 ◇天皇陛下に反逆することになるから、味方しない。 ○班内で意見を交流し、発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ◇明治政府に不満だから、西郷軍に味方した。 ○実際はどうだったかを示す資料を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ◇参加した人と、そうでなかった人がいた。 ◇嫌々参加した人々もいた。きっと悩んだのだろう。 ○人吉が西南戦争でどうなったのかを予想し、確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ◇たくさんの人が巻き込まれたのではないだろうか。 ◇人吉城下が、ほとんど燃えている。 ◇もう戦えないだろう。武力での批判は無理だ。 ◇武力がダメなら、どうやって不満を伝えるのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業支援アプリ(ロイロノート)を使い予想させたり、意見交流させたりする。 ○根拠を示して結論を出すように指示する。 ○参加側の意見(資料⑤A：丸目徹の日記)、不参加側の意見(資料⑤B：会同士族の議案書)を提示して、当時の士族の気持ちを考えさせる。 ○人吉二番隊・三番隊の資料(資料⑥)を提示して、西郷軍に反発する人が多くなったことを確認する。 ○西南戦争での人吉の動きを表した年表(資料⑦)、人吉城下の被害状況(資料⑧)を提示して、人吉城下が大きな被害を受けたことを確認する。
		<p>【追究課題】 政府に不満を持つ人々の行動は、どのように変わっていったのだろうか。</p>	
		<p>3 これまでの学習を元に、追究課題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個人で考える。 <ul style="list-style-type: none"> ◇西郷軍に味方するかどうかで迷ったが参加した結果、人吉は大きな被害を受けたから、もう何もしないのではないか。 ◇人々は、武力反乱は成功しないことに気付いて、別の方法で非難するようになった。 ◇西南戦争後は、言論での批判が中心になった。 ○班内で意見を交流し、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学習(明治維新の諸政策への反発、人吉城下の被害等)を簡潔に再確認した上で、追究させる。 ○机間指導を行い、生徒の思考を支援する。 <p>○発表人数は、時間を見て調整する。</p>
終末	5分	<p>4 次時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○次時で、板垣退助が中心となった自由民権運動について調べることを、確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ◇板垣退助は、どうしたのだろうか。 ◇自由民権運動は盛り上がったのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次時は、板垣退助が中心となった自由民権運動が、明治政府とどう対峙したのかをみていくことを、確認する。

(3) 本時の評価

評価の観点	評価基準
思考・判断・表現	A：人吉士族が西南戦争に関わっていたことを踏まえ、政府への批判が武力から言論へ変わっていったことを、説明することができる。
	B：人吉士族が西南戦争に関わっていたことを、説明することができる。